

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 07 効率的な污水処理施設の整備

施 策 : 01 環境にやさしく快適な下水道の整備

施策担当職・氏名 | 下水道課 総括主査 久保 雪子

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

- ・「滝沢市污水処理実施計画」に基づき整備促進を図っており、平成28年度末現在において、污水処理整備人口46,576人、整備率84.5%となっています。
- ・景気の低迷等の影響で民間開発区域の整備や入居が遅れていた状況が若干改善し、国道4号拡幅関連の巣子地区工事の着手、小岩井地区の供用開始等により、合併浄化槽を含めた水洗化率は目標値を上回っています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

- ・公共下水道事業については国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を、浄化槽設置整備事業については循環型社会形成推進交付金をそれぞれ活用することとしていますが、国からの交付金確保は不透明な状況にあります。
- ・少子高齢化などの影響もあり、下水道や合併処理浄化槽などへの切替費用を確保できないなど経済的理由による接続率の低下が懸念されており、これらの多様化する住民ニーズの変化への対応が求められています。

(3) 基本施策との関連性

污水処理施設の整備を推進することにより、政策にある「ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します」の実現が図られるものと考えます。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・平成28年度策定の「滝沢市下水道事業経営戦略」や平成26年度策定の「污水処理実施計画」に基づく公共下水道事業及び合併処理浄化槽設置整備事業の最適配分による污水処理の整備のを推進
- ・「アセットマネジメント」及び「ストックマネジメント」の考え方に基づく、既存の下水道施設の適正な長期的維持改修計画の策定
- ・合併処理浄化槽設置に係る融資あっせん制度の周知と普及促進

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- ・効率的な下水道維持管理計画の策定に向けた下水道施設維持管理データの整備
- ・普及率の向上につながる下水道の普及促進に係る助成制度の検討

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

下水道整備地区の工事完了を最優先とした上で、長期的維持管理計画策定に向けた下水道施設のデータ整備を行います。

